

公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第36号

令和6年8月発行



令和5年度定期総会、会員研修会、懇親会開催のお知らせ

(日時)令和6年9月2日(月) 16:40 受付開始 / 17:00 定期総会 / 17:20 会員研修会 / 18:30 懇親会 / 20:00 解散

(場所)法政大学 市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階「会議室A」

(会員研修会)

演題:『将来の会計事務所独立開業を目指す若手会員に対するメッセージ』(仮題)

講師:古田土 満会員(1976年経営学部卒)

(会費)公認会計士及び会計士補 10,000円 / 試験合格者 5,000円

目次

会長挨拶	2	法政士業の会だより	8
会費等納入の御礼	4	一般社団法人法政大学校友会の活動状況について	8
古田土会員が令和6年「春の叙勲」にて旭日単光章を受章	5	ゴルフコンペ	9
一般社団法人法政大学校友会役員への参画状況について	5	友好団体等への参加報告	9
令和5年度公認会計士試験合格者の近況	6	会員研修会報告	9
令和5年度定期総会議案等の概要	7	令和5年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告	10
		編集後記等	12

同封物:会報、郵便口座振替用紙

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



盛夏の候、公認会計士法友会の会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

本年度も全国の会員の皆様から、会費と寄付金のご芳志を賜り、誠にありがとうございます。会員各位の多大なるご支援に本当に感謝に堪えません。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを何とか維持できているのも、会員の皆様方のご賛同とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめ、役員諸氏の精力的なご対応と協力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめ、役員諸氏の精力的なご対応と協力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

今回も、この半年間のイベントについてのご報告と、これまでの法友会活動を振り返って、今後の方針等、雑感を述べさせていただきます。

【令和5年度公認会計士試験の合格状況と合格祝賀会の開催について】

●令和5年度の法政大学出身者の公認会計士試験の合格者は、38名(現役学生16名、卒業生22名)ということで前年度より10名増で、全国大学別合格者ランキングでは一橋大学、立命館大学と並んでの第9位ということで、3年ぶりに全国のトップ10に返り咲きました。毎年、現役学生は相当数の合格者を輩出し、特に今年度は、3年生からの合格者が9名もいるのは、指導にあられた先生方や高度会計人育成センターの関係者のご尽力と合格者の皆さんの努力の賜物かと思えます。また、今回は卒業生からの合格者、それも、法学部や文学部といった種々の学部出身者の方が多く合格されました。卒業後に受験勉強を継続された(あるいは始められた)皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

今後益々の合格者の増加により、来年度はさらに上位入りを期待いたします。(今回から、合格者の皆様のご氏名を掲載したいと思います。祝賀会当日の配布した式次第に掲載されたものです。P.4をご参照ください)

●詳しい調査をしている訳ではないのですが、今回合格者数を大幅に伸ばしている大学別合格者数ランキング上位の大学においては、付属校と大学との連携により、高校生のう

ちから公認会計士試験合格のための教育課程や職業啓蒙活動が進んでおり、特定の付属校においては高校生の時から公認会計士試験合格を目指して受験勉強をスタートさせているとも聞いております。法政大学においても、現在、法政中学高等学校(旧一高)では、高2・高3の正規の選択授業「簿記・アカウンティング」受講者が毎年増加しており、大学進学後の合格者の増加に繋がっていると伺っています。これらの取り組み好例を他の付属校にも拡充することを推進し、当会においては、公認会計士の職業の魅力を開蒙する活動を拡充したいと考えています。

●令和6年1月27日に令和5年度公認会計士試験合格祝賀会を3年ぶりに大学内の薩埵ホールにて立食形式で開催することができました。(詳細報告は、後掲報告記事ご参照。)合格者代表の山本奈緒さんからの挨拶では、公認会計士のお父様に対して感謝の言葉を述べられ、父娘で涙された姿は印象的でした。

今年の合格祝賀会も、多くの若手会員に参加いただきました。同日に開催しました会員研修会の講師を石割由紀人会員(1993年経営学部卒)をお願いして「公認会計士・税理士のスタートアップ支援の心得について」と題して多くの上場支援実績の経験を交えて実践熱く語っていただきました。今後もより多くの若手会員の参加を促進するための研修等を企画していきたいと思えます。

●6月25日に開催された日本公認会計士協会東京会主催の「公認会計士制度説明会」(リアルタイムオンライン開催、高度会計人育成センターと共催)においては、今回の合格祝賀会に出席された合格者の高橋真名さんが、多数の本学の学生に対して、自らの合格体験談を熱く語っていただきました。受験勉強の心構えや公認会計士を目指した理由等の実感のこもった話に対して、聴講された学生(付属校の高校生を含む)からの多くの質問にも的確にお応えされており、非常に手応えのある説明会で良かったと思えます。

このような会計士制度説明会(若手会員の合格体験談や現況の紹介を含む)は、今後も、高度会計人育成センターと協力して(できれば次回は付属校で)開催の機会を増やしていきたいと思えます。

●この「制度説明会」には、大学OB・OG会の代表として太田が参加させていただき、法政大学における合格者の状況や法政大学出身の公認会計士の活躍の状況、特に女性会計士の活躍の状況と併せて、公認会計士法友会からの受験生に対する「奨学支援金」について紹介させていただきました。

法友会「奨学支援金」制度は、毎年、高度会計人育成センターが主催する学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式試験の受験を条件に用途を専門学校の受講費用充当に限定して5万円を給付するものです。

これまでの給付実績は、2016年度から2022年度までの7年間合計で42名の資格付与者の内31名が受給し、うち短答式合格21名、最終合格者が現在までに16名出ているという

ことで、受給した学生の合格者数及び合格率は着実に高い結果が出ており、支援のし甲斐があるということで一同、喜んでおります。

法友会としてはこれを継続し、さらに拡充していきたいと考えておりますが、この原資として会員の皆様からのご寄付浄財が不可欠であります。なにとぞ皆様のご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(後記のとおり、会費の納入者が年々減少しており、それに伴い年度寄付金も暫減しております。合格祝賀会や会員総会時に出席者から徴収しております「会費」はそのほとんどが懇親会費用に費消されており、会務運営や奨学支援金の原資拡大のためには、別途に、皆様からのご寄付ご芳志が必要である現況であることをご理解いただければ幸いです。)

●今後も継続して、高度会計人育成センターと協力して、受験生の拡大及び合格者増加のための諸施策(付属校の高校生への公認会計士の職業紹介や試験合格への啓蒙活動の推進)を支援していきたいと思っております。

【法政大学校友会・法政士業の会における大学への貢献活動の参画について】

●従前、校友会終身会員登録の拡充促進については、卒業後「年度同期会員」(2014年3月以降の卒業生)の5年経過後の若手会員の年度同期会からパートナー組織(当会)への所属変更の働きかけを中心に積極的に推進してまいりましたが、今般、校友会において、卒業生が卒業後すぐに各パートナー組織の終身会員となるように会則規程等が改正されるようですので、詳細決まり次第、該当する若手会員の皆様には、積極的に所属変更手続ご対応にご協力のほどお願いいたします。

●法政士業の会の大学連携事業活動として、大学リカレント教育オフィスの公開講座「(起業を目指す)ビジネスパーソンのための経営基礎講座」を企画し、各士業団体から起業(創業)支援を専門とする士業の講師4名が春学期に3回開講しました。(詳細は後掲の活動報告記事参照。)今回も、公認会計士法友会からの講師はなく、企画担当のみでしたが、次年度以降の継続開催予定では当会からもテーマを専門とする講師を出したいと考えておりますので、会員各位におかれましては、是非とも積極的にご協力のほどお願いいたします。

【会員の近況報告】

●令和6年春の叙勲で古田土 満会員(1976年経営卒)が、旭日単光章を受章されました。(P.5をご参照ください。)

●私事で恐縮ですが、以前ここでもご紹介しましたが、私儀、「日本簿記学会」という学会に公認会計士として会員となっており、2024年6月15日(土)にその関東部会が法政大学市ヶ谷キャンパス大内山校舎で開催されました(準備委員長は本学経営学部の坂上学先生)ので、参加してきました。統一論題は「インボイス制度と簿記」ということで、座長解題に始まり、簿記学者や実務家の研究報告や参加者全員によるアカデミックな熱い討論が行なわれ、終了後の懇親会では、準備委員の経営学部川島健司先生による「イタ

リアのワインと食でめぐる複式簿記の起源」の紹介があり、数種の高級ワインとそれぞれに合うお勧めマリージュの実演メニューを堪能し、参加者全員と学内で酔いしれるひとときを過ごすことができました。日本簿記学会に興味のある方は、川崎定昭会員(1979年経営卒)を通じて実務家会員になれますので、ご連絡ください。また、川島先生には是非、機会があれば法友会においても「イタリアワインと簿記の起源」の講義(兼懇親会)をお願いしたいと思います。

●同じ6月22日(土)には、法政士業の会前会長の「金子征史先生を偲ぶ会」が大学内の薩埵ホールにて開催されました。故金子征史先生には、法政士業の会を通じて私共も大変お世話になりました。和食克雄顧問(現法政士業の会会長)より、金子征史先生との生前を偲ばれてのご挨拶をいただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

●今年の法政大学の学位授与式と入学式は、3月と4月にそれぞれ日本武道館に於いて挙行されました。在学中に試験合格して社会に飛び立っていく卒業生、あるいは再挑戦する卒業生や、希望に目を輝かしている入学生を迎えて、保護者の方々も含めて最大で約8千人を前にしての壇上からの校歌斉唱とエールは、やはり意気高揚しました。「フー！フー！法政、がんばれー！がんばれー！卒業生と新入生」と。

●会計士業界も企業の人的資本に関する開示やAIによる監査等、新しい難題が次々と出てきますが、この逆境を好機にして、法政大学からさらに多くの公認会計士を輩出し、将来のある若い皆さんが生き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやることはたくさんあります。

【最後に】

昨今、経済界は人手不足で学生の売手市場の状況が継続しており、公認会計士試験受験を目指す学生も思ったようには増えませんが、今年も38名の試験合格者が輩出され、当会にも多くの新しい仲間が増えました。

今後も法政大学からより多くの公認会計士を輩出するためにも、さらに、将来のある若い皆さんが生き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

今年度の定期総会も2024年9月2日(月)に開催することといたしました。

毎年参加されています会員諸氏におかれましては勿論、しばらくご無沙汰しております会員の皆様にも是非ともご参集をいただき、「法政、我が母校♪」と声高らかに校歌をご一緒しましょう。

「フー！！フー！！法政、ガンバレ！！ガンバレ！！
法友会」

以上

会長挨拶

会長 太田 莊一 (昭和52年卒)

(令和5年度公認会計士試験合格者)

氏名	学部	卒業年 在学年	氏名	学部	卒業年 在学年	氏名	学部	卒業年 在学年
相場 竣介	経済	2019	酒巻 青波	経営	2023	中村 昂幹	経営	3
荒井 大樹	経営	3	酒本 純翠	経営	4	西村 脩	経営	3
有馬 琳花	経営	3	清水 雄大	経済	4	濱野 太樹	経営	2023
石川 稔也	法	2022	鈴木 郁海	文	2018	藤田 駿	経営	3
井上 湧太	経営	2022	鈴木 雅也	経営	2016	本多 広樹	社会	4
梅津 凌	経済	4	関 一成	文	2023	増田 美咲	キャリアデザイン	2023
大崎 杏奈	法	2022	高橋 真名	経営	4	丸市 英輝	経済	2018
小川 亮	経営	2022	立原 智彦	経営	3	山北 圭佑	法	2022
尾西 美咲	経営	3	田中 優真	経済	2023	山口 泰輝	経済	2022
鎌野 広大	法	4	塚原 樹	経営	3	山本 奈緒	キャリアデザイン	2022
清野 聖人	社会	2019	土屋 一樹	文	2022	若杉 亜美	経済	2021
工藤 航	経営	2018	中平 研	文	2014	渡邊 勇飛	経営	2018
齋藤 亮太	経営	3	中野 優音	経営	4			

令和5年度公認会計士試験 出身大学別合格者数(トップ10)

1位(1)	慶応義塾大学	165	(187)	6位(4)	中央大学	55	(54)
2位(2)	早稲田大学	128	(109)	7位(8)	京都大学	47	(41)
3位(3)	明治大学	101	(86)	8位(7)	神戸大学	44	(50)
4位(4)	東京大学	56	(57)	9位(14)	法政大学	38	(28)
4位(9)	同志社大学	56	(44)	9位(5)	立命館大学	38	(54)
				9位(10)	一橋大学	38	(38)

()は前年度順位及び人数

他大学の人数は日本公認会計士協会提供データを基に当会にて調査

会費等納入の御礼

令和5年度(2024年3月31日まで)に会費・寄付等を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

赤岩 茂 飯塚 昇 五十嵐 正明 石川 亜依 石川 正敏 石出 康子 井上 倫哉 梅村 一彦 太田 莊一
 太田 眞晴 大野 厚夫 奥 朋 小倉 加奈子 小野 隆良 尾町 雅文 柿沼 幸二 金子 祐大 神谷 佑樹
 河合 三彦 川崎 定昭 河西 正之 北村 敏雄 君和田 和子 草深 文理 黒田 學 桑原 正信 木暮 友喜
 古田 土 満 小林 保弘 佐藤 康平 東雲 達哉 篠原 可奈 柴田 匡司 島田 幸樹 杉本 喜代美 鈴木 和郎
 鈴木 一功 鈴木 一宏 高木 淳 高橋 和司 高村 茂 竹澤 隆国 竹部 直一郎 館内 宏宣 堤 研一
 東海林 寛史 遠山 景一 富樫 健一 豊島 忠夫 中山 理恵子 西澤 利雄 藤田 利弘 藤原 明 古川 直磨
 細越 善次郎 本間 寛 前田 大輔 校條 太郎 森口 輝来 矢部 豊 山本 成男 山本 成男

定期総会に参加いただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

渥美 龍彦 飯塚 昇 石川 正敏 伊藤 章子 鶴藤 葉子 梅村 一彦 太田 莊一 大野 厚夫 大谷 はるみ
 越智 一成 小野 隆良 河西 正之 岸野 勝 倉持 直樹 小場 貴之 酒井 宏暢 佐竹 健二 中村 里佳
 西浦 正和 橋爪 宏徳 春山 直輝 古田 十 牧野 智成 三浦 太 矢田堀 浩明 吉田 実貴人 和食 克雄

合格祝賀会に参加いただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

渥美 龍彦 新井 良明 飯塚 昇 石川 正敏 石割 由紀人 伊藤 章子 伊藤 将也 稲垣 大輔 井上 倫哉
 鶴飼 颯大 鶴藤 葉子 海老澤 弘毅 太田 莊一 大谷 はるみ 小倉 加奈子 越智 一成 小野 隆良 川口 宗夫
 河西 正之 岸野 勝 木下 恵嗣 草深 文理 倉持 直樹 古田 土 満 小林 保弘 小堀 良典 近藤 大輔
 酒井 宏暢 佐竹 健二 佐藤 直 鈴木 雄飛 高木 淳 瀧本 祐和 竹内 勝利 田原 聖一朗 永井 恵太
 西浦 正和 春山 直輝 福壽 直樹 前田 大輔 牧野 智成 松原 恭司郎 三浦 太 向井 健人 向山 光浩
 矢部 豊 山田 努 和食 克雄 和食 克雄

古田土 満会員が、令和6年「春の叙勲」にて旭日単光章を受章

このたび、1976年卒の古田土 満会員が、令和6年「春の叙勲」にて旭日単光章を受章されました。授与に至った理由は、「古田土式月次決算書」と「人を大切に作る経営計画書」を用いて中小企業の経営を一貫して支援し続けていることとされています。(株)古田土経営HPより)

私たち公認会計士法友会の会員が、このような受勲の栄誉を受けたことは大変喜ばしいことであり、ここに謹んでお祝いを申し上げます。

古田土会員は、昔の田町校舎の公認会計士講座で昼夜共に勉強された会員も多いかと思いますが、合格後すぐに独立開業され、400名を超える社員を擁する日本有数の会計事務所を築き上げられ、今なお会長職として各方面で中小企業の経営指導をされていらっしゃいます。

古田土会員の今後益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(なお、9月2日(月)の開催の会員総会時の研修会において、古田土会員よりご講演をいただくことをお願いしておりますので、会員の皆様には是非ご参加いただき、会計事務所独立開業を目指す若手会員のご参考になればと思います。)



ご報告

令和6年4月29日付で

古田土満が
旭日単光章を受章いたしました。



今回、このような章をいただいた理由。それは、

経営のやり方よりも「あり方」を
考え続けてきたからです。

(株)古田土経営ホームページより転載)

一般社団法人法政大学校友会役員への参画状況について

会長 太田 荘一(昭和52年卒)

法政大学校友会における公認会計士法友会の終身正会員数は、2023年10月現在126名となっておりますが、今年度、(終身正会員40名に1名の割合で選出される)代表議員の改選があり、既選出の川崎定昭会員、小野隆良会員、酒井宏暢会員の3名が終身会員の全員のご承認により再選されました。また、2024年6月の定期総会において、石川正敏会員が理事(法政士業の会ブロック選出)に、飯塚昇会員が監事に、それぞれ再任されることが承認されました。

令和5年度公認会計士試験合格者の近況

合格者に近況を報告していただくコーナーです。

●西村 脩（経営学部4年）



〈ご挨拶〉

法友会の皆様、初めまして。法政大学経営学部経営学科4年の西村脩（にしむら しゅう）と申します。この度はこのような機会をいただきましたこと、大変光栄でございます。今後も多々お世話になろうかと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈会計士試験について〉

私は横浜の商業高校に通っていました。高校3年生の時、進路を決める際にやりたいことがまだ明確に決まっていなかった私は、非常に悩んでいました。そんな中、進路相談の先生から「公認会計士」という職業を教えてくださいました。当時の私はその職業についてほとんど知識がありませんでしたが、先生が話す内容に興味を持ち、「公認会計士を目指してみよう」と軽い気持ちで勉強を始めることにしました。しかし、実際に受験勉強を始めると、その大変さは私の想像をはるかに超えていました。会計士試験は非常に大変で、一日中勉強に追われる日々が続きました。何度も挫折しそうになり、やめようかと思うこともありました。

そんな時、私を支えてくれたのは周囲の人々でした。家族や友人、そして学校の先生方の励ましや応援の言葉が、私にとって大きな力となりました。特に両親は、私の状況を気にかけて、温かい言葉をかけ続けてくれました。また、同じ目標を持つ友人たちと一緒に勉強することでモチベーションを維持することができました。その結果、私は一発で公認会計士試験に合格することができました。この成功は、私一人の力ではなく、周囲の人々の支えがあってこそ成し遂げられたものだと感じています。試験勉強を通じて得た知識やスキルはもちろん、周囲のサポートの大切さを実感しました。この経験は、今後の人生においても大きな財産となり、自信と誇りを持って歩んでいくための基盤となっています。

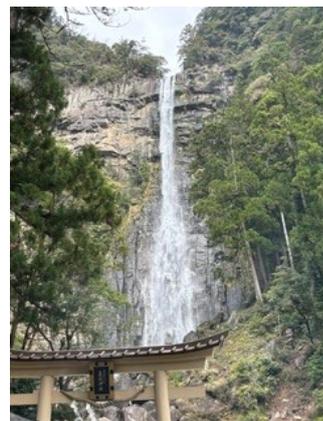
〈現在の仕事について〉

私は監査法人アヴァンティアでキャリアをスタートしました。現在は学生の身であるため、学生非常勤という形で勤務させていただいております。初めて社会に出る経験をし、まだまだ未熟な私ですが、先輩方のご指導とサポートのおかげで日々業務に取り組んでいます。4月からの繁忙期には、初めての实务に直面し、自分の実力不足を痛感する毎日でした。細かな数字の確認、複雑な報告書の作成など、どれもが初めての経験であり、最初は戸惑うことばかりでし

た。特に、クライアントとのコミュニケーションや期限の厳守など、実際の業務で求められるスキルは、教科書だけでは学びきれないものでした。しかし、先輩方はそんな私を温かく見守り、丁寧に指導してくださいました。先輩方の励ましやアドバイスは、私にとって大きな支えとなり、業務に取り組むことができるようになりました。また、チームとしての協力やサポートの重要性を学ぶことで、自分自身の成長を感じることができました。繁忙期を通じて得た経験は、私にとって非常に貴重なものでした。失敗を経験することで、自分の課題や改善点を見つけることができました。現在は、先輩方に少しでも追いつけるように、日々努力を重ねています。業務の効率化やスキルアップを図るために、自己学習を続けるとともに、積極的に業務に取り組んでいきたいです。監査法人アヴァンティアでの経験を通じて、将来的には公認会計士としてクライアントに信頼されるプロフェッショナルを目指して頑張りたいです。

〈プライベートについて〉

試験の合格後は、趣味のアニメ鑑賞や読書（漫画・ライトノベル）を楽しんでいます。受験勉強に追われていた頃は、趣味に時間を割くことが難しく、大好きなアニメや漫画に触れることができませんでした。しかし、試験に合格して時間とお金に余裕ができた今、再びこれらの趣味に没頭することができるようになりました。さらに、合格後の新しい楽しみとして一人旅行を始めました。先日は和歌山県と奈良県に2泊3日で旅行に行ってきました。和歌山では那智の滝を訪れ、その圧倒的な自然の美しさや迫りに感動しました。那智の滝は日本三名瀑の一つであり、その壮大な景観は一見の価値があります。滝の近くを歩くと、水しぶきが肌に当たったり、自然の力強さを肌で感じることができました。また、滝の周辺には神社やお土産屋さんもあり、ゆっくりと観光を楽しむことができました。奈良では東大寺の大仏を見に行きました。大仏はその巨大さと荘厳さに圧倒され、歴史の重みを感じました。東大寺の敷地内を散策しながら、古都奈良の歴史や文化に触れることができました。



〈おわりに〉

法友会の皆様、先般は合格祝賀会にお招きいただき誠にありがとうございました。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和5年度定期総会議案等の概要

事務局より

令和5年度の定期総会を対面で9月2日に開催しますので、事前に報告事項と決議事項の概要を、ご説明いたします。

1.会員数の推移

過去10年間の会員数は以下の通りですが、公認会計士法友会に参加の意思を表示しない・参加しないと意思を表示した人は累計で217名になっています。若手会員の活動をより活性化して周知し、参加を促す必要があります。

単位：人

H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
683	699	720	715	740	762	759	772	786	792

なお、令和5年度の公認会計士試験合格者のうち、法友会に加入の意思を表明した人は、令和6年3月31日現在で10名でした。

2.後進の育成のための高度会計人育成センターとの連携

会報第35号の「会長挨拶」及び「簿記チャンピオン大会」参加報告をご覧ください。

3.会費納入状況について

多くの会員の皆様から、年度会費、年度寄付金のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

(単位：千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会費・寄付金	702	1,235	1,366	1,356	1,090
定期総会、合格祝賀会	1,302	—	—	520	1,088
収入計	2,004	1,235	1,366	1,876	2,178
支出	1,949	777	736	1,216	2,047
収支差	55	458	629	659	130

定期総会、合格祝賀会は、コロナ禍の影響により変動が大きくあります。会費・寄付金は、令和元年度以降、皆様のご協力により増加傾向にありましたが、今年度は減少しています。

今後も、奨学支援金支出の増加、合格者の増加等が見込まれますので、引き続き、より多くの会員の方への会費の納入のお願いと経費節減を合わせて行ってまいります。

4.決算・予算概要

令和5年度も、多くの会員の皆様から会費・寄付をいただきました。ありがとうございました。

①収入関連

令和5年度は、定期総会、合格祝賀会とも開催しました。しかし、コロナ禍前に開催した程の参加者数とはなりません。また、会費・寄付金をいただいた会員数も以前に比べ減少しました。これらから、予算には達しませんでした。

令和6年度は、令和5年度並みを想定しています。

②支出関連

令和5年度は、総会・祝賀会開催費用のうち、総会費用は、昨今の値上がりの影響を受けて予算比で増加しましたが、祝賀会費用は、参加人数が予算を下回ったこと、祝賀会に出席する合格者が想定を下回ったことなどから、予算比で減少しています。

令和6年度は、定期総会、公認会計士試験合格祝賀会の開催を予定しているため、関連の支出を計上しています。なお、昨今の物価の値上がりを受けて、値上がり分を考慮しています。また、合格祝賀会に出席する合格者は20名と想定しています。

「校友会終身会員登録会費」は、昨年の校友会寄付金の残金を活用して、若干名の終身会員の追加登録を予定しています。

「奨学支援金」は、「高度会計人育成センター」との連携により、簿記チャンピオン大会の成績優秀者に支払うもので、支給実績を勘案し、7名分を計上しました。

「その他」に含まれている「通信費」は、この秋に30%の値上げが予定されているため、その分を考慮して計上しています。

決算・予算概要(単位：千円)	R5年度予算	R5年度実績	R6年度予算
会費・寄付金	2,600	2,178	2,235
校友会(合格者お祝い金)	450	660	450
収入合計	3,050	2,838	2,685
総会・祝賀会開催費用	1,700	1,936	1,874
終身会員登録	150	—	150
奨学支援金	350	300	350
その他	760	471	633
支出合計	2,960	2,707	3,007
収支差	90	131	△322
前期繰越	3,447	3,447	3,518
未払金	△59	△59	—
次期繰越	3,478	3,518	3,196

以上

法政士業の会だより

山田 努(昭和59年卒)

2024年上期活動報告

(法政大学リカレント教育オフィス主催公開講座)

6月8日、15日、22日の3回シリーズ(各回90分、定員150名)で「(起業を目指す)ビジネスパーソンのための経営基礎講座」をZoomオンラインにて開催し、中小企業診断士オレンジ会、法政司法書士会、行政書士オレンジ会の先生方が講師を担当されました。当会の太田会長が法政士業の会の研修担当として本講座の企画段階から関係者との調整に尽力し各会からの厚い信頼を得ています。

(中小企業診断士オレンジ会 神宮応援イベント)

4月21日(日)の立教2回戦に中小企業診断士オレンジ会の神宮応援イベントがあり、内藤博会長を始めとする中小企業診断士の先生方10人に当会の太田会長も参加されました。晴天の下で春季初勝利をおさめ、試合終了後のビールが最高だったとのこと。

この夏の侍ジャパン大学日本代表に法政大学からは2人選出され選手層は他大学に引けを取らないので、秋季リーグ戦ではエース篠木君を始めとする強力投手陣を中心に「結」束して「結」果を出してくれることを信じて応援したいと思います。(2024年野球部スローガン「結」)

(第30回法政大学全国卒業生の集い 秋田大会に向けての準備) 昨年の倉敷大会に続き今年も「合同無料相談会&ミニセミナー」を開催します。

2024年10月26日(土)秋田キャッスルホテル

10:00~10:30 ミニセミナー「空き家問題について考える」

不動産鑑定士橙法会 菊池会長

10:30~12:30 合同無料相談会

当日はこのあと14時から菅 義偉 元内閣総理大臣の特別公演が予定されています。また、小早川さんが特別ゲストとして来るそうなので、1980年4月経営学部入学同期である筆者としては「これは秋田に行くしかない!」と計画を立て始めたところ。みなさまもご関心がありましたらぜひご参加ください。

法政士業の会は、和食会長(当会顧問)のもと大学連携・校友会連携・会員間連携などの活動を拡充してまいります。みなさまにも引き続き積極的なご参加・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人法政大学校友会の活動状況について

飯塚 昇(昭和49年卒)

法政大学校友会は、一般社団法人に移行して11年目となり、竹中宣雄会長のもとで執行部による校友会運営全般の見直しが進められ、具体的にスタートしているものもあります。

その主たるものとしては、1. 年度同期会からのパートナー組織への移籍ルールの緩和、2. 女性活躍推進、3. 現役学生への貢献施策、4. 校友会の会館施設の在り方の検討などが挙げられます。(校友会報第20号 2024年1月発行を参照)

今回、このうち「3. 現役学生への貢献施策」について、若干の説明を付け加えさせていただきます。

(校友会奨学金について)

コロナ禍で学業資金の不足で通学を断念する現役学生を少しでも支援しようとのことで、校友会理事・代表議員を中心に校友会奨学金への寄付を募り、令和5年度は2,350千円の奨学金を支給しています。

(理系コンソーシアムについて)

学生の就学支援、就職(採用支援)、地方活性化、共同研究などを目的に「法政大学理系コンソーシアム」が設立されたことを受け、校友会は大学支援の一環として、理系コンソーシアム

への加盟企業の募集の協力を行い、現時点で130社を超える加盟企業数となっていることに大きな貢献をしました。

(社会連携寄付講座)

令和6年度春学期から開講した「社会連携寄付講座」は、上場企業4社の社長経験者と現役社員の複数名のゲスト講師により、経験談と現場の実情を後援するとともに、学生との双方向での授業を行うというものです。

法友会が過去に行った寄付講座「実践会社実務論」も、法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」の趣旨に沿ったもので、この数年は開講できていませんが再開ができるよう働きかけられればと考えています。

さて、校友会の3大イベントの予定は、「第23回オール法政ゴルフ大会」が9月9日に、「第30回法政大学全国卒業生の集い(秋田大会)」が10月25日から27日に、「オール法政新年を祝う会」が来年の1月26日に開催されます。多くの法友会会員の参加をお願いして、本稿の結びとさせていただきます。

ゴルフコンペ

石川 正敏(昭和58年卒)

新年度は、以下のコンペを予定しています。開催されることとなった場合に、メール等にてお知らせいたします。皆様の積極的な参加をお願いいたします。

予定しているゴルフコンペ

・オール法政ゴルフ大会「総長杯」

9月9日(月)キングフィールズゴルフクラブにて

・法友会ゴルフコンペ

10月23日(水)茨城ゴルフ倶楽部にて

・CPAゴルフ「十月会」

11月4日(月曜・祝日)茨城ゴルフ倶楽部にて

オール法政ゴルフ大会「総長杯」が、例年9月の第1月曜日から第2月曜日に変更となり、9月9日(月)キングフィールズゴルフク

ラブを借り切って開催されます。ゴルフ場入場時から法政大学校歌が流れ、法政一色の楽しいコンペです。

公認会計士大学対抗ゴルフコンペ「十月会」は、昨年に引き続き、11月4日(月曜・祝日)に茨城ゴルフ倶楽部にて開催される予定です(開催ゴルフ場確保の関係で10月開催が出来ず11月開催となりますが、名称は「十月会」です)。初参加大歓迎です。

また、十月会に先立ち、法友会ゴルフコンペを10月23日(水)茨城ゴルフ倶楽部東コースにて開催予定します(ワールドレディース・サロンパスカップの開催コース)です。

ゴルフ関係の、ご参加申込、お問い合わせは下記まで。

eメール: ishikawa@aiwa-tax.or.jp

FAX: 03-5715-3318(あいわ税理士法人 石川正敏宛)

友好団体等への参加報告

●公認会計士三田会定期総会懇親会参加報告 太田 荘一(昭和52年卒)

2024年3月27日(水)に銀座の交詢社で開催された慶応義塾大学公認会計士三田会定期総会懇親会に参加してきました。合格者の新人歓迎会を兼ねての開催ということで、200名を超える参加者が会場全体に熱気溢れる懇親会でした。慶応義塾は旧試験制度から49年間連続の公認会計士試験合格者大学ランキング1位を保持しており、更に現在は、三田会事務局が会計士受験専門学校内にあり、益々合格者を増やそうとしているのには驚きました。また、役員も大手監査法人毎の担当に加えて、各卒業年度毎に数名の幹事がおり、若手に活動参画させていることは、本会の参考になりました。

会員研修会報告

大谷 はるみ(昭和60年卒)

令和6年1月27日(土)に公認会計士法友会の会員研修会を市ヶ谷キャンパスの外濠校舎の教室にて開催しました。講師は、石割由紀人氏で、公認会計士校友会会員であり、石割公認会計士事務所 所長・Gemstone税理士法人代表社員をされておられます。研修テーマは「公認会計士・税理士のスタートアップ支援の心得について」で経験豊富な講師の経験を踏まえた内容で、若手公認会計士校友会会員が多数参加していただき、大変充実した研修会となりました。



令和5年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告

事務局より

令和6年1月27日(土)、公認会計士法友会主催による『公認会計士試験合格祝賀会』を市ヶ谷キャンパスの外濠校舎6階薩埵ホールで開催しました。大規模な合格祝賀会の開催は3年ぶりでした。

今年度の公認会計士試験では、38名が合格(内訳は、学部卒業生:22名、学部在學生:16名)しました。祝賀会は、廣瀬克哉総長をはじめ、日本公認会計士協会の茂木哲也会長、大学常務理事、後援会、校友会、同窓会及び士業の会の役員、学部長、担当教授などの大学関係者、公認会計士のOB・OG、約100名が出席し、盛大な会となりました。

太田会長からは、近年の合格者数、大学別ランキングに触れながら、大学3年生の合格者が多くだけでなく、卒業生の合格者が多くの学部から出ていることも特徴の一つと紹介がありました。

廣瀬総長からは、これから様々な道に進んでいくことと思うが、その人生を通して、この資格を手にしたプライドを胸に、ぜひ社会に対する、その資格を持っている人じゃないとできない貢献を続けていっていただきたいと思います、と激励の言葉を述べられていました。

茂木会長からは、皆さんには、公認会計士業界で大きな存在感を発揮していく、その一翼を担っていただくような活躍をしていただきたい、公認会計士としてしっかりとした役割を果たして行く、そういった気持ちを持っていただきたい、と激励の言葉を述べられていました。



太田会長



廣瀬総長



茂木会長

「法政大学後援会賞」の表彰ならびに会長ご祝辞、「法政大学校友会賞」の表彰ならびに会長ご祝辞、岸 牧人教授の乾杯が行われました。



後援会賞

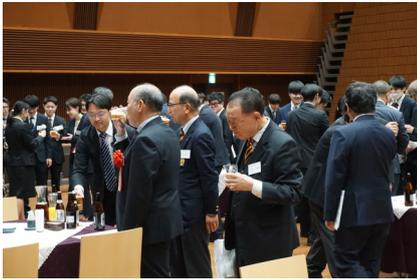


校友会賞



乾杯

その後は、歓談、記念撮影、公認会計士法友会からの記念品贈呈と続き、合格者全員からの一言をもらいました。最後は、応援団・チアリーディングによる演舞での校歌斉唱、和食顧問による挨拶で中締めとしました。



公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

3月末現在の会員数 792名

ホームページもご覧下さい。
<http://hoyukai.la.coocan.jp/>



編集後記

皆様、暑い日が続いていますが、体調は大丈夫でしょうか(7月15日時点)。外を歩くと炎天下ですし、社内や屋内はエアコンが効いていて、ちょっと寒い。会議などで、送風口の下に座っていると、芯まで冷えてしまいます。外に出ると、冷え切った体が戻るのがよく分かりますが、あつというまに暑くなってきます。この先、地球はどうなってしまうのでしょうか?と真剣に思っています。

今後のイベント予定

皆さん、ご予約ください。

- ・定期総会: 2024年9月2日
ボアソナード・タワー26F「会議室A」
- ・合格祝賀会: 2025年1月25日
薩埵ホール

● 法政士業の会よりお願い

法政大学校友会では、卒業生等が経営している(関係している)お店を「法政オレンジMAP」にて紹介しています。しかし、士業の方の登録がほとんどありません。

ぜひ、登録いただければと思います。下記URLの法政オレンジマップのサイトから店舗情報入力フォームへ進んでください。

<https://hoseinet.or.jp/orangemap/>

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円(一口)だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座にお願いいたします。

銀行口座 三菱UFJ銀行 東中野支店(店番152) 普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会
<連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ
公認会計士法友会事務局 080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!



スタートアップベンチャーの経営強化書 / 著者:三浦太(昭和60年卒) 出版:株式会社中央経済社
経営資源をいつどのように調達するか、IPOかM&Aかプライベートカンパニーの継続かなど、起業家が事業展開の中で選択判断を迫られた際に考慮すべき経営上の留意点を集約。「壁」を乗り越えるために経営資源をどう調達するか?単一事業のままでいくのか、複合的に事業展開していくのか?IPOか、M&Aか、それともプライベートカンパニーの継続か?

※現在、書籍の保管場所がないため、受入は中止しています。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思いますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。